

平成 2 2 年 度 決 算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 2 3 年 4 月

病 害 虫 防 除 所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	4
8	収入事務処理状況調べ	4
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5
11	不納欠損額調べ	5
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	5
14	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	6
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	6
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	6
19	寄附物件の受納状況調べ	6
20	備品の処分状況調べ	6
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	6
22	事業別予算執行状況調べ	6
○	意見、要望等	6

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
病害虫防除所		<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫防除所の設置及び運営に関すること。 （植物防疫法第32条に規定） ・病害虫発生予察調査及び予察情報の発表に関すること。 （植物防疫法第23条及び31条に規定） ・ミバエ類等侵入警戒病害虫に対する調査事業に関すること。 （植物防疫法第21条に規定） ・輸出梨の検疫に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

（平成23年4月1日現在）

種別 区分	事務職員			技術職員		現業職員			計	備考	
	当 年 度	該 年 度	22.4.1 現 在	当 年 度	該 年 度	22.4.1 現 在	当 年 度	該 年 度			22.4.1 現 在
定員	1		1	11		11			12	12	
現員	1 (1)		1 (1)	11 (11)		11 (11)			12 (12)	12 (12)	()内は兼務職員 兼務職員の内訳 企画総務部 1(事務) 農業試験場 5(技術) 園芸試験場 6(技術)
過不足(△)	0		0	0		0			0	0	
臨時職員											
非常勤職員											

5 役付職員の調べ

(平成23年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	沢田 義久	2年 月	本務 農林総合研究所農業試験場長
主幹	坂東 悟	2	本務 同 農業試験場 環境研究室長
主幹	田中 篤	2	本務 同 園芸試験場 環境研究室長

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要																				
<p>指定病害虫発生予察事業</p> <p>決算見込額 912千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 912千円</p> <p>重要病害虫発生予察事業</p> <p>決算見込額 854千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 854千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 植物防疫法第22条に規定する指定病害虫、及び県内で問題となる重要病害虫を対象として、適切な防除対策を講じるために必要な発生予察調査を行い、被害のまん延を未然に防ぐ。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1) 予察灯、フェロモントラップによる害虫の誘殺調査及び現地定点ほ場における病害虫発生状況調査を行った。</p> <p>2) 病害虫防除所が行う発生予察を補完するため、18名の農業者を病害虫調査員として委嘱し、情報収集を行った。</p> <p>3) 植物防疫法第33条に基づき、県下に40名の病害虫防除員を委嘱し、各担当地域の病害虫の発生状況調査・報告といった発生予察業務、防除指導等を行った。</p> <p>4) 農家が適切に防除を行えるよう、調査結果と気象予報により今後の病害虫の発生時期及び発生量を予測し、農業団体等へ病害虫発生予察情報を提供した。 発生予察情報は、国の規定に基づき、その重要度や内容により、予報、注意報、警報、特殊報として提供した。 その他、フェロモントラップの調査結果等迅速な情報提供が必要な場合は、指導情報として情報提供を行った。</p> <p>(1) 対象とした作物及び病害虫</p> <table border="1" data-bbox="630 1594 1358 1771"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象作物</th> <th>指定</th> <th>重要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作物</td> <td>イネ、ムギ等3作物</td> <td>15種</td> <td>32種</td> </tr> <tr> <td>果樹</td> <td>ナシ、ブドウ等3作物</td> <td>11種</td> <td>17種</td> </tr> <tr> <td>野菜・花き</td> <td>スイカ、ネギ等8作物</td> <td>12種</td> <td>41種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>38種</td> <td>90種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(指定病害虫に関する調査及び報告業務は、法定受託事務)</p>	区分	対象作物	指定	重要	普通作物	イネ、ムギ等3作物	15種	32種	果樹	ナシ、ブドウ等3作物	11種	17種	野菜・花き	スイカ、ネギ等8作物	12種	41種	計		38種	90種	
区分	対象作物	指定	重要																			
普通作物	イネ、ムギ等3作物	15種	32種																			
果樹	ナシ、ブドウ等3作物	11種	17種																			
野菜・花き	スイカ、ネギ等8作物	12種	41種																			
計		38種	90種																			

事業名	概要
	<p>(2) 提供した病害虫発生予察情報（1月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予報：主要病害虫の発生予測を定期的に発表（10回/年間計画11回） ・注意報：多発生が懸念される病害虫について発表（5回） <ul style="list-style-type: none"> 第1号 ネギ：べと病 第2号 ナシ：黒星病 第3号 果樹全般：カメムシ類 第4号 イネ：いもち病 第5号 イネ：斑点米カメムシ類 ・警報：病害虫の大発生が予想される場合に発表（1回） <ul style="list-style-type: none"> 第1号：果樹全般：カメムシ類 ・特殊報：新規病害虫の発生や、生態及び発生消長が特異な場合に発表（1回） <ul style="list-style-type: none"> 第1号 ネギ：黒腐菌核病 ・指導情報：調査結果の速報及び迅速な情報提供が必要な場合に発表（64回） <p>(3) ホームページでの情報提供回数（1月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報更新回数46回、アクセス数6,820回 <p>イ 平成22年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通作物の害虫発生予察を行うための予察灯について、過去のデータを精査した。その結果、中部2地点（倉吉市、琴浦町設置分）は類似の発生傾向を示したため、倉吉市の調査については取り止めることとした（設置か所：5地点から4地点に変更）。 ・ムギの重要病害虫アブラムシ類について、近年、現地における発生はごく少なく、今後も問題にはならないと予想されるため、対象病害虫から削除した。 ・ダイズの発生予察調査地点について、調査対象を県内主要産地に特化して選定を行った（13地点から10地点に変更）。 <p>ウ 成果</p> <p>各関係機関に、各対象病害虫に関する情報を提供することにより、現場指導にいかされた。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、県内に南方系害虫の新規侵入が認められるなど、病害虫の分布域の拡大（北上）に伴う対応などが新たに必要となってきた。 （イチジクヒトリモドキ：平成19年に県内で初発生を確認。ミナミアオカメムシ：鳥根県等中国地方4県では既発生、本年度まで県内では未確認。） ・各担当者が発生予察業務と試験研究業務を両立し、夏期を中心に防除所業務への負担が大きくなっている。より一層の調査の効率化、業務分担、人員配置等見直しが必要である。

事業名	概要
ミバエ類等侵入警戒調査事業 決算見込額 119千円 (財源内訳) 国庫支出金 119千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 法定受託事務として、国内への侵入やまん延が特に警戒されているミバエ類等の侵入警戒調査を行い、これらの病害虫を早期に発見する（植物防疫法第21条及び第32条の2）。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チチュウカイミバエ及びコドリガについて、県内4ヶ所でフェロモントラップによる調査を実施した。 ・スイカ果実汚斑細菌病について、県内7ヶ所でほ場調査を実施、疑わしい症状のあるものについては、検体を採取し、抗血清による検定を実施した。 ・バラ科植物の火傷病について、県内ナシ生産ほ場6ヶ所でほ場調査を実施した。 ・平成21年に東京都のウメで確認されたプラムポックスウイルス（仮称）について、全国規模の発生状況調査が実施され、県内3市町のウメ、モモの発生状況を調査した。 <p>イ 平成22年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 巡回によるトラップ調査を効率的に行うため、設置場所の変更を行った（県内4ヶ所のうち、1ヶ所について、南部町から予察灯設置場所（週1回巡回）の日吉津村に変更）。</p> <p>ウ 成果 各対象病害虫とも、県内への侵入及び発生は確認されなかった。</p> <p>エ 課題 チチュウカイミバエ及びコドリガのトラップ調査は、国の植物防疫所（神戸植物防疫所 広島支所 境港出張所）も実施しており、業務効率化の観点から調査の必要性の確認及び県内調査地点等の見直しを検討する必要がある。</p>

7 収入証紙取扱額調べ
 該当なし

8 収入事務処理状況調べ
 (1) 分担金及び負担金
 該当なし

(2) 使用料
 該当なし

(3) 手数料
 該当なし

(4) 財産収入
 該当なし

(5) 諸収入
 該当なし

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金
該当なし

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料
該当なし

13 工事請負費調べ
該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類	円 24,111	円 68,000	円 68,750	円 23,361	
収入印紙	0	0	0	0	
合 計	24,111	68,000	68,750	23,361	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債 権
該当なし

- 15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 - (1) 土地及び建物
該当なし
 - (2) 物 品
該当なし
- 16 借受不動産明細調べ
該当なし
- 17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
 - (1) 職員住宅
該当なし
 - (2) 職員駐車場
該当なし
- 18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ
該当なし
- 19 寄附物件の受納状況調べ
該当なし
- 20 備品の処分状況調べ
該当なし
- 21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
- 22 事業別予算執行状況調べ

目 名		肥料植物防疫費	(平成23年1月31日現在)
事 業 名		事業の概要（目的、実績等）	
病虫害防除所運営費		病虫害防除所の設置及び運営に要する経費	
指定病虫害発生予察事業		「6 主な事業に関する調べに記載」	
重要病虫害発生予察事業		「6 主な事業に関する調べに記載」	
ミバエ類等侵入警戒調査事業		「6 主な事業に関する調べに記載」	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし